

各 位

会 社 名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント  
代 表 者 名 代表取締役社長 富士本 淳  
(JASDAQ・コード 6425)  
問 合 せ 先 経営企画室 広報・IR 課  
電 話 番 号 03-5530-3055 (代表)

## 株主還元の基本方針に関するお知らせ

当社は、これまで、株主に対する利益還元を最重要経営課題の一つとして取り組んでおり、その実現のため、高収益な企業体質の構築と継続的な株主資本利益率の向上に努めるとともに、業績に応じた安定的な配当を維持することを基本方針としておりました。

また、内部留保につきましては、健全な財務体質を確保し経営基盤を強化するとともに、有望な事業案件に対しては、必要な資金を機動的に投資するために、適正な水準を維持することを基本方針としておりました。

これらの基本方針の下、当社においては、当社グループがフィリピン国で事業展開しております統合型リゾート施設「Okada Manila」につき、すでにその一部の営業を開始しているものの、現地の情勢に応じた建築の見直し及び安全性の再構築を行う必要があり、改めてお客様の安全及びセキュリティ管理を強化すべく、フルオープンに向けて更なる建設資金及び開業費用の発生が見込まれたことや当期の業績を勘案いたしまして、誠に遺憾ではございますが、無配としておりました。しかしながら、今般の経営環境に鑑みて、今後の当社の株主還元施策等につき、以下のとおりお知らせいたします。

### 1. 今後の株主還元施策について

当期に入り、重要な係争事件が解決したこと<sup>1</sup>、フィリピン国で実施している統合型リゾート施設「Okada Manila」の建設において、完成の目途がたってきたこと及び営業を開始したのが一部のみであるにもかかわらず事業が順調に拡大していること、また、平成 30 年 9 月 11 日付け「当社連結子会社による株式取得（孫会社化）に関するお知らせ」でお知らせしたとおり、フィリピン国におけるカジノリゾート事業の運営会社の上場を目的とした施策を開始したこと、さらには、パチスロ・パチンコ事業においても、新規則に対応した製品の開発・研究がすでに進行していることから、上述したこれまでの基本方針を維持しつつも、余剰資本や財務余力の程度に応じて剰余金の配当及び自己株式の取得等の株主還元施策を積極的に採用する予定です。

### 2. 今後の対応について

株主還元の基本方針に基づく具体的な株主還元施策の内容、方法及び実施のタイミング等については、適切な機関にて検討を行い、決定し次第速やかに公表いたします。

以 上

---

<sup>1</sup> Wynn Resorts, Limited (NASDAQ) と当社及び当社子会社 Aruze USA, Inc. が締結した和解契約につきましては、平成 30 年 3 月 9 日付け当社プレスリリース「ウィン・リゾート社 (NASDAQ: WYNN) との和解に関するお知らせ」([http://www.universal-777.com/corporate/news/pdf/2018/IR\\_20180309.pdf](http://www.universal-777.com/corporate/news/pdf/2018/IR_20180309.pdf)) をご参照ください。